

令和5年度(2023年度)第78回北海道教育研究所連盟研究発表大会(十勝大会)
兼第65回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会

分科会B:教職員の学びや働き方を支えるICT活用の在り方

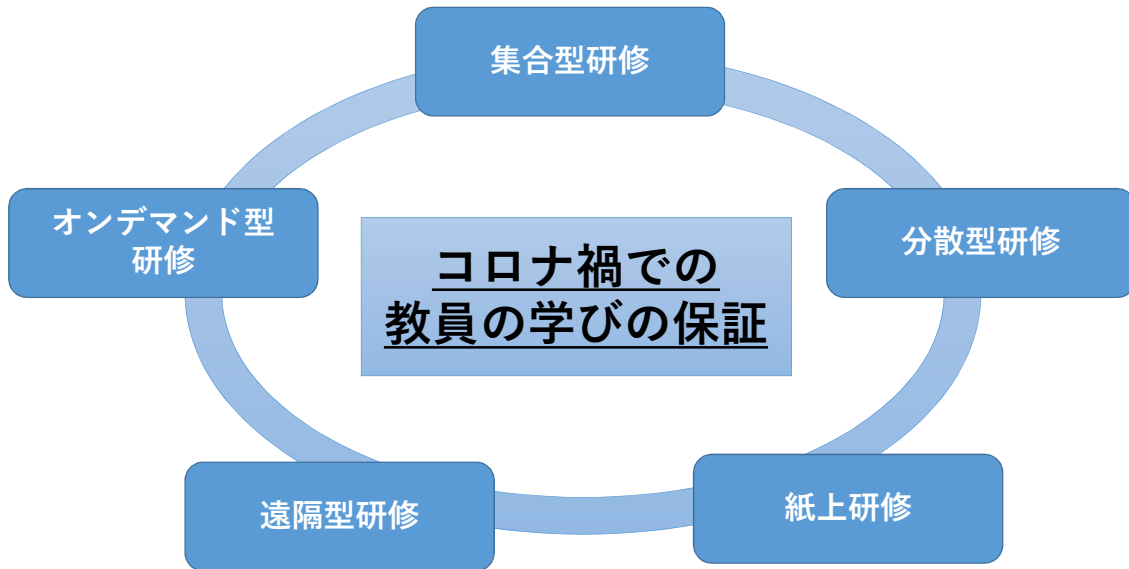


北海道立教育研究所

道研におけるプロジェクト研究

**「新たな教師の学びの姿」を実現する
ための教員研修に関する研究**

これまでの道研の取組



中央教育審議会答申（令和4年12月19日）では

新たな教師の学びの姿

変化を前向きに受け止め、
探究心をもちつつ自律的に学ぶ
ことができる

「主体的な姿勢」

求められる知識技能が
変わっていくことを
意識することができる

「継続的な学び」

新たな領域の専門性を身に付け
るなど強みを伸ばすための、
一人一人の教師の個性に即した

「個別最適な学び」

他者との対話や振り返りの
機会を確保した

「協働的な学び」

「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）
令和4年12月19日 中央教育審議会

学校における働き方改革の推進

アクション・プラン（第2期）の主な取組

- 1 本来担うべき業務に専念できる環境の整備
（ICTの積極的な活用）
- 2 勤務時間を意識した働き方の推進と学校運営体制の充実
- 3 教育委員会によるサポート体制の充実

コロナ禍での
道研の取組

令和4年12月19日
中教審答申

学校の
働き方改革

「新たな教師の学びの姿」を実現する
ための教員研修に関する研究

研究内容

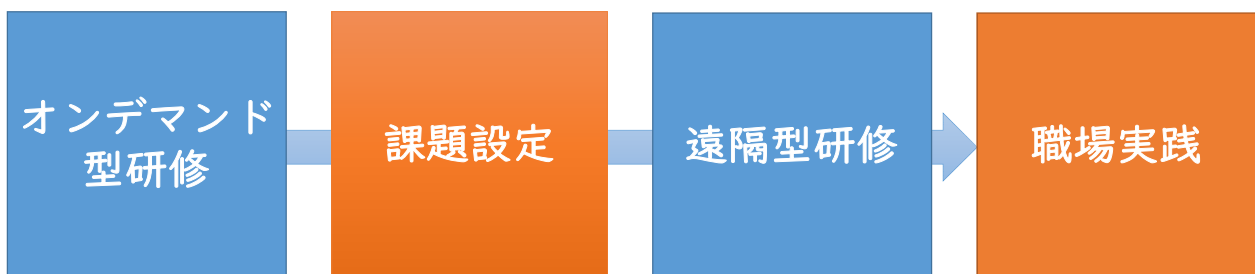
「研修講座基本型の策定と試行、改善」

<視点>

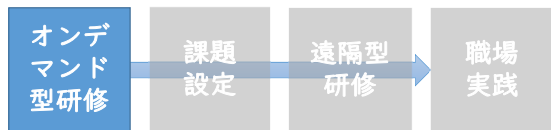
- ・ 個別最適な学び、協働的な学びを取り入れた講座の流れの工夫
- ・ 主体的に参加し、学びを継続する工夫

研究内容

「研修講座基本型の策定と試行」



【オンデマンド型研修】



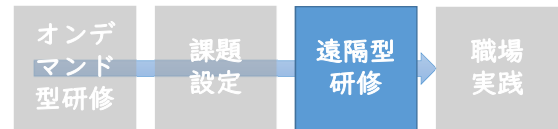
- 基礎知識の理解
- 課題発見のための問い
- 視聴期間の保証（1～2ヶ月）

【課題設定】



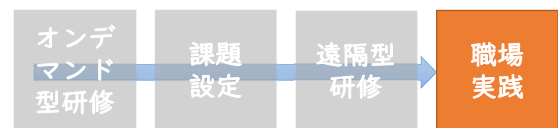
- オンデマンド型研修の視聴や職場実践、振り返りを通して、自身や職場の課題を設定
- 設定した課題は、事前に講師や運営者と共有

【遠隔型研修】



- 著名講師による講義・演習
- 受講者からの質問時間の確保
- 受講者間の学び合いのための協議の設定
- 個別の課題に対応する場の設定

【職場実践】



- 遠隔型研修で学んだことを基に計画等を見直し学校で実践
- 計画等を見直しでは、所員が個別にフォローアップすることもある
- 授業をライブ配信し、授業参観してその後協議する

事例①

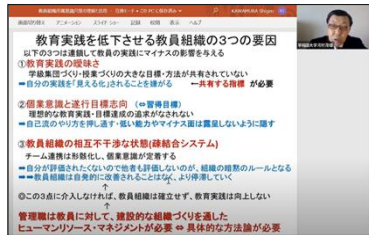
学校運営研修Ⅰ

～組織を活性化するヒューマンリソース・マネジメント～

①60分

6/1～6/14 オンデマンド型研修 「講義」

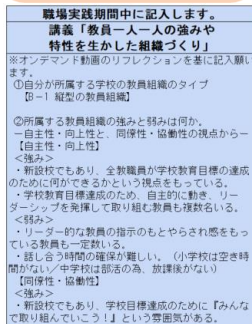
- 講師によるオンデマンド講義



6/15～7/11

職場実践

- オンデマンド講義を基に自校の教員組織に係る分析



②2.5h

7/12

遠隔型研修

「交流・講義・協議」

- 職場実践に係る交流
- 講師による講義
- 職場実践及び講義を踏まえた今後の自校の取組に係るグループ協議



事例②

小学校外国語教育充実研修



オンデマンド型研修

6/19～6/26

「講義」

- 講師による講義
- 動画の視聴

遠隔型研修Ⅰ

7/3

「講義・協議・演習」

- 講師による講義
- 自己の課題の明確化及び今後の取組の充実に向けた協議

職場実践・中間フォローアップ

7月中旬～10月中旬

- 学習指導案の作成
- 作成した学習指導案に基づく実践
- 研究研修主事による授業実践に向けた個別のフォローアップ

遠隔型研修Ⅱ

10/13又は16

「授業参観」

- 協議
- 受講者のうち希望する1名の授業を参観
- 授業参観に基づいた協議

フォローアップ

11月

- 実践に係る個別の聞き取り、助言

遠隔型研修Ⅰ・Ⅱ 講師 文部科学省初等中等教育局視学官 直山 木綿子 氏

受講者の声

- ・ 著名な講師からの説明は、ポイントが明確な上に、熱い志も伝わってきた。また、北海道にフォーカスした内容を聞いたり、協議で質問したりすることができた。
- ・ 職場実践で学校の現状を把握した上で、講義を聞いたことで、自校の現状を可視化することができた。
- ・ 遠隔型研修は、移動時間がかからないので参加しやすい。
- ・ 午後からの研修は参加しやすく、講義と討議のバランスもよかった。

改善してきたこと

- 遠隔型研修の冒頭にブレイクアウトで課題の確認
- 全ての個別の課題に対応（講師との事前打合せ）
- グループ協議の際、状況によって運営者がファシリテートする
- 遠隔型研修における、web会議システムとGoogle Classroomを併用した協議、演習の工夫

今後の取組

- 受講者アンケートの分析による
 - ・ 研修全体の流れ、研修内容、構成の見直し
 - ・ グループ交流・協議の改善
 - ・ 講師、専門性の高い関係機関の洗い出し
- より安定した遠隔型研修の工夫